

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども家庭課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2353
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	ひとり親家庭子育て支援事業		事業期間	平成 28年度 ~ 令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	生後 6 か月から小学校 6 年生までの子どもを養育するひとり親家庭を対象に、たかまつファミリー・サポート・センターの利用料金の一部を助成する。 対象者(すべてを満たすもの) ・高松市在住で、生後 6 か月から小学校 6 年生までの子どもを養育しているひとり親家庭 ・たかまつファミリー・サポート・センターの援助会員登録をしている人 ・市税を滞納していない人				
3年度概要	たかまつファミリー・サポート・センターの利用会員のうち、ひとり親家庭を対象に利用料金(1時間700円)の一部を助成する。 助成額 1時間当たり400円(子ども2人目以降は1時間当たり200円。1か月8,000円を限度に助成。)				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)		

【事業の目的】

対象(何を)	ひとり親家庭の親
意図(どのような状態にしたいか)	経済的に不安定な状況におかれているひとり親家庭の、就労支援や育児の負担軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
利用登録者数	人	54	47	49		45

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
成果指標	利用時間数	時間	目標値	1,100	1,100	1,100	700	700
			実績値	1,428	1,206.5	684.5		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	利用時間数について、実利用者の需要が少なかつたため、目標値を下回った。	(目標達成度)	21点					
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[円]	2,106	2,043	1,778	2,029
(事業費)	[円]	594	525	282	533
(職員人件費)	[円]	1,512	1,518	1,496	1,496

【評価】

評価ランク (A~D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
市単独の事業で実施しており、ひとり親家庭等のファミサポ利用者に対して補助金を交付した。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
子育ての援助をしてほしい人と、援助したいひととが会員となる組織(たかまつファミリー・サポート・センター)が行う事業への助成であり、事業対象者の絞り込み等内容の検討は必要であるが、今後も事業を継続する。			

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども家庭課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2353
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	ひとり親家庭等医療費助成事業		事業期間	平成 28年度 ~ 令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	母子家庭の母と子、父子家庭の父と子、両親のいない子及び両親のいない子(子は原則18歳年度末まで)を扶養する配偶者のない兄・姉等を対象に県内現物、県外償還で保険診療に係る高額療養費までの自己負担分を助成 県費補助対象額の1/2(県制度は自己負担有)				
3年度概要	母子家庭の母と子、父子家庭の父と子、両親のいない子及び両親のいない子を扶養する配偶者のない兄・姉等を対象に県内現物 県費補助対象額の1/2(県制度は自己負担有)				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)		

【事業の目的】

対象(何を)	高松市内在住で保険証を持っている方で母子家庭の母と子、父子家庭の父と子、両親のいない子、両親のいない子を扶養する配偶者のいない兄・姉等 (子は原則18歳年度末まで)
意図(どのような状態にしたいか)	医療費に係る経済的な負担の軽減を図る

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
支払件数	件	150,767	149,190	133,998		148,116

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
				目標値				
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	(目標達成度)							
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	(目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[円]	451,212	452,459	419,601	438,721
(事業費)	[円]	434,576	435,765	403,141	422,261
(職員人件費)	[円]	16,636	16,694	16,460	16,460

【評価】

評価ランク (A~D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
本事業の実施により、ひとり親等の医療費に係る経済的な負担を軽減している。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
所得制限も実施されており、財政的に厳しい状況の中、現状維持が妥当である。			

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども家庭課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2353
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	ひとり親家庭自立支援事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	ひとり親家庭等の相談に応じ、その自立に必要な情報提供および指導を行うため、自立支援相談事業として、母子・父子自立支援員を配置する。 また、ひとり親家庭の総合的支援のため、窓口強化事業として就業支援専門員を配置する。		
3年度概要	母子・父子自立支援員(会計年度任用職員)3人により自立支援相談を行う。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務有)

【事業の目的】

対象(何を)	ひとり親家庭等
意図(どのような状態にしたいか)	ひとり親家庭等の親からの相談に応じ、必要な情報提供及び指導を行い、ひとり親家庭の自立を促進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
母子自立支援相談件数	件	1,671	1,264	1,066		1,200

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
	母子自立支援相談解決件数	件	目標値	1,500	1,500	1,500	1,200	1,200
			実績値	1,671	1,264	1,066		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 目標値を下回った。令和元年度に比べ減少したことについては、他機関との密な連携による相談回数の減少や、各個人の状況に応じた確かな相談体制を案内していることや、同一相談者への複数回にわたる対応等が原因として考えられる。	(目標達成度)						(達成度) 71.1%
			24点					
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[円]	15,317	14,614	12,431	15,478
(事業費)	[円]	11,536	10,820	8,690	11,737
(職員人件費)	[円]	3,781	3,794	3,741	3,741

【評価】

評価ランク (A~D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
相談者の相談内容が複合的であり、複数の相談課にまたがるような場合の対応が課題である。(どこが主体になるのか。どこまでかわるのか等)			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
県やその他機関の実施する自立支援相談員の研修等を受けスキルアップを図りながら相談業務に従事しており、今後も同様に事業を継続することが必要である。			

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども家庭課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2353
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	母子家庭等就業・自立支援事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	「母子家庭等就業・自立支援センター事業」では、ひとり親を対象に就業支援講習会事業を開催する母子・父子福祉団体に事業を委託する。また、離れて暮らす親と子どもの面会交流のための連絡・調整、子どもの受け渡し、付き添い、見守りを行う NPO 法人に対して、業務委託を行う。その他、「ひとり親家庭等日常生活支援事業」では、就職活動や疾病等の事由に対し、家庭生活支援員を派遣し、短期間を限度として一時的な家事・介護等のサービス提供事業を、母子・父子福祉団体等に委託する。				
3年度概要	母子家庭等就業・自立支援センター事業 (委託先 香川県母子寡婦連合会) 面会交流支援事業 (委託先 NPO 法人面会交流支援センター香川) ひとり親家庭等日常生活支援事業 (委託先 高松市社会福祉協議会)				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業 (法律による実施義務無)		


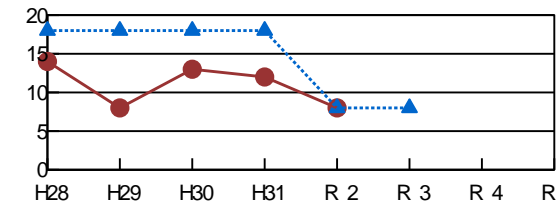

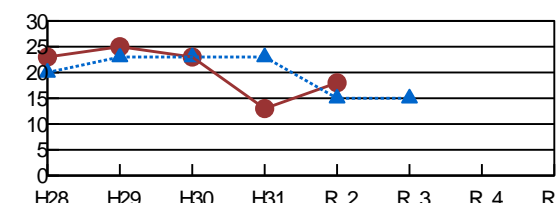
【事業の目的】

対象 (何を)	ひとり親家庭の親
意図 (どのような状態にしたいか)	ひとり親家庭の親の自立支援・就労支援を図る。

【事業の活動】

活動指標名 (具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
講座実施回数	回	37	36	13		13
家庭生活支援員派遣回数	回	391	151	133		190

【事業の成果】

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
講座受講申込者数	人	目標値	18	18	8	8	8
		実績値	13	12	8		
成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか) パソコン教室など就労に結びつく可能性が高い研修を開催したことから、目標値に達した。 							(達成度) 100.0% 35点
ひとり親家庭等日常生活支援事業利用登録者数	人	目標値	23	23	15	15	15
		実績値	23	13	18		
成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか) 利用者登録は利用の有無に関わらず継続して登録を行っており、複数年にわたって利用していない者もいたため、平成 30 年度に見直しを行った。令和 2 年度は新規登録者が増えたことにより目標値に達した。 							(達成度) 120.0% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度 (決算)	平成 31年度 (決算)	令和 2年度 (決算)	令和 3年度 (予算)
トータルコスト	[円]	9,135	8,145	4,809	5,774
(事業費)	[円]	6,110	5,110	1,816	2,781
(職員人件費)	[円]	3,025	3,035	2,993	2,993

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

新規登録者が増えたことにより目標値に達した。利用者登録は利用の有無に関わらず継続して登録を行っており、複数年にわたって利用していない者もいたため、平成 30 年度に見直しを行い、令和元年度からは未就学児を有する家庭の一時的な利用は概ね 3 月とし、やむを得ない理由がある場合に限り延長を認めている。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

日常生活支援事業では平成 30 年度に整理した事業方針に基づき、事業を運営していく。

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども家庭課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2353
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	ひとり親家庭無料職業紹介事業		事業期間	平成 28年度 ~ 令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	・自立支援プログラム策定事業 ・個々の児童扶養手当受給者の状況等に対応した自立支援プログラムを策定し、これに基づき、決め細やかで継続的な就労支援を実施する。 ・ひとり親家庭無料職業紹介事業 ・子ども家庭課内に職業安定法第 3 3 条の 4 第 1 項の規定による無料職業紹介所を開設し、児童扶養手当資格者に対し、職業紹介や求人情報の提供などを行う。		
3年度概要	母子・父子自立支援プログラム策定員兼就業支援専門員 2 人(会計年度任用職員)を配置し、児童扶養手当受給者等を対象に就労に係るプログラム策定を行う。 また、サポーター企業からの求人を紹介、斡旋するひとり親家庭無料職業紹介を行う。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)

【事業の目的】

対象(何を)	ひとり親家庭の親、離婚予定の親等
意図(どのような状態にしたいか)	就職が困難なひとり親家庭の生活の安定と福祉の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
就労相談人数	人	1,415	1,356	1,307		1,300

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
自立支援プログラム策定件数	件	目標値	130	130	130	100	100
		実績値	79	87	88		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 目標値に達しなかった。プログラム策定可能者(児童扶養手当受給者等)が限定されていることや労働市場が売り手市場であり、支援対象数が減少していること等が理由であると思われる。なお、プログラム策定後のアフターケア件数は6件であった。	(目標達成度)						(達成度) 67.7% 23点
職業紹介件数	件	目標値	4	4	4	4	4
		実績値	15	9	5		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 目標値である4件を上回った。	(目標達成度)						(達成度) 125.0% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[千円]	11,011	11,229	11,443	11,868
(事業費)	[千円]	5,718	5,917	6,206	6,631
(職員人件費)	[千円]	5,293	5,312	5,237	5,237

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

各人の状況に応じた自立支援プログラムを策定し、きめ細やかで継続的な就労支援を実施した。また、本庁舎 2 階ジョブコーナーとの連携により、職業紹介や求人情報の提供などを行い効果的に支援した。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

売り手市場においても、就労にあたっては不利になる可能性があるひとり親家庭の親の就労支援については一定の需要があり、事業継続は必要である。

令和 3年度（2年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	運営支援室
	施策	子どもの成長への支援	電話番号	087-839-2368	
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援	事業実施主体	市	
	事務事業	発達障がい児等支援事業（こども園運営課分）	事業期間	平成28年度～令和5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	発達障がい等のあるケースに適切に対応するため、市内の公立保育所及び公立幼稚園に発達障がい児等支援員を配置し、早期に専門的な保育・教育支援や親子支援を行うとともに、専門家による継続した訪問支援を行い、具体的な指導を行うなど、関係機関と連携しながら適切な支援体制を整備する。		
3年度概要	<ul style="list-style-type: none"> 公立保育所及びこども園35か所に70人、公立幼稚園19か所に29人、支援員を配置 発達障がい児等支援体制構築事業 巡回支援員（専任）50施設 150回訪問 報告会の開催（4回）教職員研修の実施 		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	


【事業の目的】

対象（何を）	市内の公立保育所及び公立幼稚園に在園する乳幼児
意図（どのような状態にしたいか）	主に、支援の必要性や緊急性の高い乳幼児を対象として、早期に対応し、生活上の介助や活動上の支援等を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
発達障がい児等支援員配置施設数	か所	60	60	58	55	55

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
成果指標	発達障がい児等支援員配置率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市内の公立保育所・こども園及び公立幼稚園において、すべての施設について支援員を配置できている。  （目標達成度）							（達成度） 100.0% 35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（予算）
トータルコスト	[円]	168,034	168,833	126,568	123,935
（事業費）	[円]	166,522	167,315	125,072	122,439
（職員人件費）	[円]	1,512	1,518	1,496	1,496

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
各施設に支援員を配置し、関係機関等と連携を図りながら、早期に対応することで、支援を必要とする乳幼児一人ひとりのニーズに応じた教育・保育環境を提供することができた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
当該事業のうち特に平成26年度から実施することになった発達障がい児等支援体制構築事業等の効果を分析し、より効率的な事業運営となるよう取り組みたい。			

令和 3年度（ 2年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども保育教育課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2358
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	市
	事務事業	発達障がい児等支援事業（こども園総務課分）		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	発達障がい等のあるケースに適切に対応するため、私立保育所等に対して、要支援児童を保育するための必要な経費の一部を支弁する。		
3年度概要	支弁対象施設 40 施設に 75 人		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	


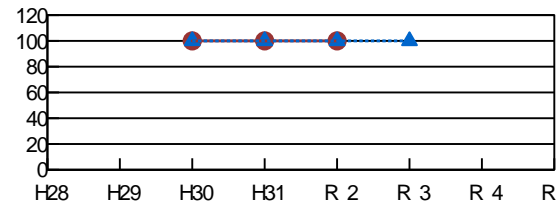
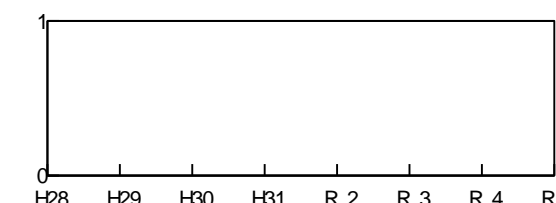
【事業の目的】

対象（何を）	市内の私立保育園、認定こども園及び小規模保育事業所に在園する支援を必要とする乳幼児
意図（どのような状態にしたいか）	主に、支援の必要性のある乳幼児を対象として、早期に対応し、生活上の介助や活動上の支援等を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
発達障がい児等受入施設数	か所		34	40	40	30

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
発達障がい児等受入率 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市内の発達障がい児受入可能な私立保育所、私立認定こども園及び私立小規模保育事業所において、当該施設に入所を希望する発達障がい児を受入できている。 	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100		
				(達成度) 100.0% 35点			
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)		目標値					
		実績値					
				(達成度)			

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和 2年度（決算）	令和 3年度（予算）
トータルコスト	[円]	10,784	11,341	15,418	11,423
（事業費）	[円]	10,028	10,582	14,670	10,675
（職員人件費）	[円]	756	759	748	748

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
主に支援の必要性のある乳幼児に対し、生活上の介助や活動上の支援等を行った。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
今後も当該施策の状況を注視し、より効率的な事業となるよう取り組みたい。			

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	運営支援室
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2368
	基本事業	配慮を要する子どもと保護者への支援		事業実施主体	
	事務事業	医療的ケア児保育支援事業		事業期間	令和 2年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	保育所、幼稚園等において、集団保育・教育が可能な医療的ケア児を安全に受け入れるため、同施設等における受入体制を整備し、医療的ケア児の保育・教育を実施します。				
3年度概要	保育施設・幼稚園・学校における医療的ケア運営協議会 医療的ケア児の受け入れに関するガイドラインの改訂、入園受け入れ相談会 医療的ケア児支援業務委託				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業 (法律による実施義務無)	

【事業の目的】

対象(何を)	保育施設等に入所(園)を希望する集団生活が可能な医療的ケアを必要とする児童
意図(どのような状態にしたいか)	保育施設において医療的ケアが必要な児童に対して、訪問看護師が施設に巡回訪問し、医療的ケアを行うことにより、集団生活が可能な医療的ケア児が入所(園)可能となる

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
医療的ケア実施申込数	人			3	3	3

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
入所が内定した医療的ケアを必要とする児童数に対して、保育施設等で受け入れた割合	%	目標値			100	100	100
		実績値			100		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 医療的ケアが必要と認められた全ての児童を受け入れることができた (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
			目標値				
実績値							
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[千円]			14,368	14,579
(事業費)	[千円]			6,886	7,097
(職員人件費)	[千円]			7,482	7,482

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

昨年度は、訪問看護ステーションに委託し、公立こども園2名、私立保育園1名、計3名の医療的ケア児に、訪問看護師による医療的ケアを行った。
 また、医療的ケア児の保育施設等受入れガイドライン検討協議会にて、医療的ケア児の保育所等受入れガイドラインを作成した。
 今後、児童の様態や成長に合わせた医療的ケアを行うため、ケアの内容(時間、回数等)に変更がある場合もあり、医師や看護師、受入れ施設との連携が不可欠であり、受入れ可能人数の調整が課題である。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

引き続き、医療的ケア児を安全に受け入れられる体制の支援に努めていく。また、就学前からの切れ目ない支援体制を構築するために、高松市教育委員会と合同で「保育施設・幼稚園・学校における医療的ケア運営協議会」を設置し、医療的ケア児の受け入れに関する方針、ガイドラインの改正等、医療的ケアの実施に関する全般について指導や助言を行う。